

和光市政を耕す

たがや

市政に新たな種をまき、
芽を育てよりよい街にしよう!

VOL.

18

たけちゃん通信



昨年の世相を表す「漢字」は「税」に決まりました。2位以下には「熱」「嘘」「災」などの漢字が選ばれました。毎年、全国からの一般公募により決定します。今年は合計16万7613票の応募があり、このうち8679票を集めた「税」が1位に選ばれました。2位の「熱」との差は672票でした。17年ぶりに消費税率が引き上げられた2014年。「税に直面し、税について考えさせられた年」との理由から、「税」を今年の1文字に推す人が多かったようです。そのほか、県議会議員による「税金の無駄遣い」なども人々の印象に残ったようです。2位の「熱」は、ソチオリンピックやワールドカップといったスポーツイベントの「熱戦」や、デング熱・エボラ出血熱などの流行から。3位には、ゴーストライター問題や、期限切れ贖罪試用の発覚などにちなんだ「嘘」が選ばれています。

平成26年 12月定例会 議会報告

平成26年和光市議会12月定例会（議会）が、12月4日（木）より会期19日間の日程で開会し12月22日（月）に閉会致しました。陳情1件、諮問2件、議案第62号から議案第77号までの16議案が上程されました。また、最終日に議案第78号が追加上程されました。審議内容及び審議結果については、和光市議会ホームページにてご確認ください。私は今回全ての議案に対して賛成致しました。

尚、和光市議会を広く市民の方々に公開し、より開かれた議会を推進するために、開催中の市議会の音声及び画像を記録し、インターネット上で公開しています。録画中継は、原則として本会議の翌日から起算して5日（土日を除き）以降に配信することになっています。

※追加議案第78号は、和光市新設小学校建設工事の請負契約の締結についての議案が上程され全員賛成で可決されました。これにより（仮称）和光市立下新倉小学校建設工事が平成28年4月開校に向けて本格的に始まります。

※平成26年和光市9月定例会（議会）において、質問・要望いたしました、土のうステーションが本年度中に3カ所設置されることになりました。設置後の管理については、皆さんの積極的な管理をお願いすることになると思いますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※議案第63号「和光市総合福祉会館構成施設の管理を行わせる指定管理者の指定について」賛成討論を致しました。



和光市
イメージキャラクター
「わこうっち」

和光市
キャラクター
「さつきちゃん」

吉田たけしが市政に対する一般質問をした内容(抜粋)



子どもに対する防火・防災教育について

【質問】 子どもが幼い時から、火災や災害時など、とっさの時に、自分の身を、自分で守るすべを学び、身に付けておくことは、重要と考えます。「防火教育」を行うための、プログラムの策定と、それに基づく、指導や、訓練などを、実施してはと考えますがいかがでしょうか。

【答弁】 「防火教育」の必要性は認識しています。第三小学校で開催した平成26年度和光市地域防災訓練の中では、多くの児童に防災の重要性を認識して頂いております。

【質問】 子どもたちが、消防や、防災などについて学び、また、将来の、地域防災の担い手として、育てていくための取組みとして「子ども消防クラブ」を、展開してはいかがでしょうか。

【答弁】 子どもに対する防災教育も含めて他市の事例も参考にして研究してまいります。

【コメント】 火災発生時などに、幼い子どもが、自分の身を守ることができるようにするための「幼児向け防火教育」は重要です。「火災で自分の服に火が付いた時は、走り回らずに、地面に伏せてゴロゴロ転がる」「部屋に煙が充満した時は、四つん這いになり、体を低くして避難する」自分で、自分の身の安全を守るための、防火訓練は大切です。また、保育士や、幼稚園教諭、小中学校教諭に対しても、積極的に、防火・防災教育、それに関連する、研修などを行うことも、重要と考えます。また、家庭で、火災など、災害に巻き込まれてしまった時のために、子どもだけでなく、保護者に対しても、防火教育など防災教育や、訓練を実施して頂きますようお願い致しました。



事前防災行動計画について

【質問】 和光市では6月25日に「これまでに経験したことがないような」記録的な大雨や、それに伴う洪水や、浸水などの、被害が発生しました。今、全国の自治体で、タイムライン策定の動きが、徐々に出始めております。和光市においても、台風や、あらかじめ発生が予測できる、災害について、行政や、その他の関係機関の役割や、対応を決め、時間を追って整理しておくことは、減災の実現に、有効と考えます。事前防災行動計画「タイムライン」の策定を、行ってはいかがでしょうか。

【答弁】 防災・減災を実現する上で、タイムラインの手法は有効であると認識しています。

【コメント】 現在、和光市では、危機管理室が中心となり、庁内では、しっかりとした災害対応ができていていると思えますが、災害対応の遅れや、バラツキを防ぐためには、市だけでなく、関係機関が、日頃から顔の見える関係を、構築しておくことが重要だと思えます、関係機関との緊密な連絡会議の開催、迅速な連絡体制の構築、さらには、信頼関係の構築が必要です。災害に対する連絡協議会が重要と考えています。連絡協議会を行って頂くように強く要望致しました。

※事前防災行動計画、タイムラインとは、あらかじめ、ある程度、被害の発生が予測できる場合、大型台風の接近や、大雨などを想定し、災害が起きる数日前から、実際の発生、その後の対応までを、行政をはじめ、さまざまな関係機関が、災害時に、何をするかということ、時間を追って整理した、防災行動計画のことです。



地域防犯パトロールについて

【質問】 幸いにして和光市では、これといった大きな犯罪は起きていませんが、最近全国で、子どもを狙った卑劣な犯罪が、相次いでいます。加えて、ひったくりや、路上強盗、自転車盗、オートバイ盗などの、街頭犯罪も、多発している状況にあり、私たちの暮らしや、子どもたちの周りの、安全・安心なまちづくりは、喫緊の課題ではと思えます。

自主防犯活動を行っている団体は、どれくらいあるのか。また、最近の傾向と、団体が活動していく上での課題などについてお伺いいたします。

【答弁】 現在72団体の自主防犯団体が市内の各所で活動しております。

団体が活動して行く上での一番の課題は、団体の高齢化です。

【コメント】 防犯パトロールについては、通常の場合、直接、不審者を発見したり、犯行現場を発見することは、ほとんどありません。むしろ、潜在的な犯罪者に対するデモンストレーションや、犯罪抑止力につながるものと考えます。より効果的な活動を行っていただくためには、その方法や、活動のポイントなどを、パトロールの参



加者の方々に、よく理解していただくことも、重要です。

パトロールのポイントとしては、「20m先を見渡すイメージで歩く」「複数で歩く場合は、役割分担して、360度見渡す」「子どもが1人で歩くことが多い場所を、重点的に巡回する」「積極的に、あいさつや声かけを行い、地域の安心感を広める」といったことが考えられます。また、事件が起きやすい場所としては、「樹木が生い茂っている暗い場所」「周りから見えにくい、死角となっている場所」「公衆トイレなど、公共空間で密室になる所」などが、危険箇所として挙げられます。このような内容を、防犯パトロールの参加者の方々に理解していただき、周知を図るために、防犯パトロールの、簡易マニュアルの作成、および、配布、研修会や、事例発表会を実施して頂くように要望いたしました。



子ども・子育て支援の進捗状況について

【質問】 平成27年4月から始まる子ども・子育て新制度の進捗状況と10月1日より「和光版ネウボラ」を開始しました。開始から2か月が過ぎましたが、和光版ネウボラの状況についてお伺い致します。

【答弁】 子育て新制度施行に向けて準備を進めております。今後の予定につきましては、12月中に子ども・子育て支援会議及び保育料検討部会の開催、1月にパブリック・コメントの実施及び子ども・子育て支援会議を開催し、3月議会にて報告の予定です。なお、10月から先行し実施している和光版ネウボラにつきましては、身近な子育て拠点で妊娠前から就学前までの相談と支援を行う制度であります。11月末までの実績では、母子手帳の交付に併せて母子保健コーディネーターや保健師による面接を152件実施、産前産後ケアセンターにおいては、産後ケア事業を3ケース実施、子育て支援センター・もくれんハウスにおいては、プレパパママ教室等の産前・産後サポート事業の実施を計4回開催しております。

【コメント】 妊娠中から、出産後までの母親に対し、一貫した子育て支援を行うことは、これまでは、手薄な状況だったと言えると思います。出産に関する知識はもとより、出産に対する不安、産前産後の生活、さらには、乳児を抱え、体調がすぐれない中での、家事や育児の問題について、個々の母親や、家庭の状況を踏まえた上で、適切に支援を行うことが必要と考えます。また、和光市は、核家族の方が多いと思います。安心して子育てできるように、「和光版ネウボラ」を推進して頂きますようお願い致します。



子ども・子育て支援の周知について

【質問】 子ども・子育て支援新制度が、平成27年4月からスタートしますが、「これまでの制度との違いがわかりにくい」、「手続きはどうしたらいいのか」などという、保護者の方々の声が多くあります。新しい制度に、円滑に移行させるためには、子育て世代の市民に対して、幅広く、丁寧な、周知活動を行う必要があると考えますが、これまで、どのような手段で、住民に周知してこられたのでしょうか。今後、どのように、普及・啓発活動を行っていかれるのでしょうか。

【答弁】 子ども・子育て支援新制度及び保育園入園手続き等の周知につきましては、新たに入園を希望する方を対象に、みなみ子育て支援センター、しらこ子育て支援センター、市役所会議室において説明会を3回開催いたしました。また、在園児については、園長会議において各園長から継続通園の手続きと併せて説明していただくよう、周知を行っております。今後の周知につきましては、パブリック・コメントに併せて市内各圏域ごとの説明会を予定しております。

【コメント】 新しい制度では、幼児期の教育・保育や、地域の子育て支援を、総合的に進めるために、「保育の場を増やし、待機児童を減らして、子育てしやすい、働きやすい社会にすること」、「幼稚園と保育園の良いところをひとつにした、『認定こども園』の普及を図ること」、「幼児期の学校教育や保育、地域の様々な子育て支援の、『量の拡充』や『質の向上』を進める」などの、取り組みを、市が中心となって、進めていくこととなります。具体的には、子育てをしている親などが、保育所などを利用する際には、市が、子どもの保育の必要性などを、認定する手続きが必要です。



武道館閉館について

【コメント】 平成21年に利用者団体へ閉館を通告したところ、閉館説明が不十分だったことから、市は利用者団体に謝罪し、翌年平成22年に、再度、武道館に関する説明会を開き、耐震結果及び財政上改修工事が難しい等の理由により、平成24年度末をもって閉館する予定であると説明しました。その後、平成24年8月に改めて説明会を開催しましたが、前回の説明会より、2年以上も通知がなく、今回突然4ヶ月後に閉館の通知では、あまりにも一方的です、やはり、まずは説明会を開き、意見や要望を聞き、利用団体にしっかりと説明をすることが大切だと思います。説明会を改めて開催し、納得・合意して頂くようお願い致します。

※今現在、通知による相談や要望はなく、利用団体から相談や要望があれば、丁寧な説明をし、4月以降に新たな活動場所を確保できるように、各利用団体の活動状況に即した情報提供をしてまいります。とのことでした。



和光ブランドの認定状況について

【質問】 和光ブランドとしていろいろな分野で9品目の認定品があり、以前より増えていることがわかり、また、PRについても頑張っていることわかりました。「わこうっちお野菜村」でのPRは効果があったと思います。「わこうっちお野菜村」は、県の補助事業で、今月で終わってしまうのですが、継続することは出来ませんか。

【答弁】 国・県からの補助金等を受けて実施している事業で、補助金や縮減があるものについては、原則として事業の廃止・縮減することとされております。

【コメント】 これから、市長の公約である「軽とら市」を行うようですが、「わこうっちお野菜村」は一年やってきて、やっと定着してきたところだと思います。「わこうっちお野菜村」を活用したほうが、和光ブランドのPRや地産池消のPRにしても、大変有効だと考えます。「わこうっちお野菜村」の継続を強く要望いたしました。



6次産業化の推進について

【質問】 6次産業化の取り組みは、どのような方針の下で、何に重点を置いて、行われているのでしょうか。

【答弁】 6次産業化は推進すべき取り組みと認識しており、6次産業化により生まれた製品が、いずれ和光ブランドとして認定を受け、和光市の知名度・イメージを高め、地域産業の活性化に役立てたいと考えています。

【コメント】 最近、「トクホ飲料」が、ちょっとしたブームになっています。生産物を、より高く売るための、6次産業化の取り組みとして、健康食品や、機能性のある生産物などの分野には、今後、大きな可能性があると考えます。和光市には理化学研究所があります。理化学研究所や民間企業などと連携し、市内の生産物を生かした、健康食品の開発に、取り組んで頂くように要望致しました。



質問内容等は、和光市議会ホームページ議会会議録検索システムを利用しご確認ください。

c o m m u n i t y i n f o r m a t i o n



和光市議会議員 吉田たけし

< 4 つ の 柱 >

1. 新倉・下新倉地域へ小・中学校の早期建設を推進します。
2. 保育園の新設や病児保育、延長・夜間保育を推進し、保護者の就労を支援します。
3. 農業・農作物のブランド化を図り、地域の活性化を図ります。
4. 北側発展のため、都市計画道路、区画整理事業の早期完成を目指します。

市政に対するご意見・ご要望、またなにかの時には、なんでもご遠慮なくご相談下さい。皆さんと一緒に考えて行きます。

この会は、吉田たけしさんを中心に明るく、楽しく元気なまちづくりを目的に、会員相互の研修と親睦を行なっています。入会無料です。入会いただける方は右記にご記入の上、この面をFAXでお送りください。どうぞお気軽にご加入ください。



吉田たけし後援会 会長 柳下 茂

〒351-0111 埼玉県和光市下新倉4-15-1

TEL.048-424-3517 FAX.048-462-9369
http://www.takechan-yoshida.jp

お名前

ご住所

ご連絡先電話番号

携帯

メールアドレス